

主催：一般社団法人障がい児成長支援協会
共催：株式会社コアスリー 放課後等デイサービス IPPO

山内康彦先生講演会
『小学生低学年までに身につけさせたい身辺自立』
講演資料

2022年2月14日(日)
主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会
共催：(株)コアスリー 放課後等デイ「IPPO」

『**小学校低学年までに
身につけさせたい身辺自立**』

- 食事の時に待てない、立ち歩いてしまう
- 自分で考えることができない、選択のさせ方のコツ
- 爪を自分で切ることができるようにしたい

(一般社団法人)障がい児成長支援協会会長
山内康彦 (学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

テーマの前に……
まずは、教育・特別支援教育の現状を知る

保護者からたくさんの要望がある。
園や学校現場からも要望がある。
▲しかし、現状はなかなか進まない

**その一番の理由は、
予算(お金)の問題なのです**

恐るべし！教育予算(岐阜県の場合)

まずは、すべての県の予算の中で、一番多いのが「教育費」なんです。

- 教育費 22.5% ■民生費 12.8%
- 公債費 11.8% ■土木費 10.8%
- 総務費 6.7%

【そして**教育費の89.1%**が……】
人件費なのです。

人を増やせば、教育の質が上がると
考えていては、民間施設であれば潰れます。

恐るべし！特別支援教育の就職率

- 特別支援学校中学部の進学率は、……
岐阜県 98.4% (全国 98.3%)
- 特別支援学校高等部卒業者の就職率は……
岐阜県 38.0% (全国 32.3%)
なんと3人に一人しか就職できていない！
これが現実！「保護者として」「学校として」「行政として」「放デイ」として、今何ができるのか？を早期から考えていく必要がある。

障害の種別は？ 岐阜県 支援級

■特別支援学級 4248人

・知的障害	2423人
・自閉・情緒障害	1738人
・肢体不自由	50人
・病弱	14人
・難聴	23人
・弱視	0人

※ほとんどが「知的障害」と「自閉・情緒障害」

障害の種別は？ 岐阜県 支援学校

■特別支援学校 2610人

・知的障害	1931人
・自閉・情緒障害	0人
・肢体不自由	386人
・病弱	174人
・聴覚障害	89人
・視覚障害	40人

※「自閉・情緒」がない？

特別支援学校は、精神手帳では入学不可？

『天を望みて、地を歩む』

→18歳の出口を考えて今の療育を行う

なぜ、「今が大切」と今ばかり見るのか？

→毎年変わる担任、責任がもてない？

《まず18歳以降の三つの生き方を考える》

- 1 手帳を使って「障害者」として生きていく
- 2 手帳をもたずに「健常者」として生きていく
- 3 1と2の合わせ技、手帳と学歴をもつ生き方

それでは、中三以降どのような道に進むか

「特別支援学校高等部」進学か？

それとも「高等学校進学」か？

×現在中三卒業後社会に出る子は100人に一人

1 特別支援学校高等部進学の場合

- 通常の支援学校高等部に進学
- 高等特別支援学校高等部進学 (学力必用)

2 高等学校進学の場合

- 通常の公立・私立の高等学校 (内申点必用)
- 特別な高等学校（支援学級から進学可能）
(例) 通信制サポート高校や専修学校

【支援学校と支援級の差】

支援学校→まず身辺自立

支援学級→学習から始める

身辺自立ができているから

※3大自立ができているか？

【3大自立とは何か】

①トイレの自立

②食事の自立

③着替えの自立

※もっとも大切な身辺自立

☆小学校入学時の判定で観る

まずは、何を身につけることが重要なのか
※0歳～15歳までに身につけたい社会性
～S-M社会生活能力検査から～

- 1 身辺自立
- 2 移動
- 3 作業
- 4 意志交換
- 5 集団参加
- 6 自己統制

就職するために必要なことは・・・

大山会長（日本理化学工業）
の採用条件



- ・ 身辺自立
- ・ 自分で会社に通う
- ・ 「やろう」と言われたら
すすんでやる
- ・ 仲間にいじわるをしない
- ・ 気持ちのよいあいさつ

就労の違い(山内の指導経験から)

- 養護施設とは、・・・
 - 作業所、とは、（7歳の壁）
 - B型事業所とは、（9歳の壁）
 - A型事業所とは、（12歳の壁）
 - 一般就労とは、（15歳の壁）
- 法律も変更・・・障害者枠は、精神手帳も可。しかし、現実・・・
☆短大・大卒が条件になる場合も

『障害』についての豆知識①

もともと戦前までは『障碍』と表記されていた
『碍』とは、足元に石があって歩きづらいという
意味。周りの状況で障碍は軽くも重くもなる。
しかし、戦後の常用漢字が『碍』がなくなる
そこで“あて字”として『害』が使われる
ところが『害』という字がよくない
ならば、ひらがなで『障がい』としよう！

【現在の使い分け】

- ☆法律用語や医学用語 → 『障害』
- ☆普段使用するとき → 『障がい』

『障害』についての豆知識②

障がいは、“視覚障害”すなわち視覚機能に
障害を受けた]のように障がいを受けた“機能”
からとらえる場合と、

“発達障害”すなわち[発達期に障害を受けた
のように障がいを受けたその“時期”からとら
える場合の二通りがある。

発達障害→18歳までに何らかの障害を受けた

中途障害→18歳以降に何らかの障害を受けた

★発達障害を「自閉症・・・学習障害、注意欠陥
多動性障害」とする定義は、発達障害者支援法で
示されたわが国独自の法律・行政用語である。

『障害』についての豆知識③

中途障害→18歳以降に何らかの障害を受けた
【リハビリテーション】
できていたことが、できなくなったことへの指導
→成功体験をイメージできている

発達障害→18歳までに何らかの障害を受けた
【ハビリテーション】
できた経験がない、成功体験がわからない中での
指導
→成功体験がイメージできない
☆質が違う！ 多くの支援が必要！！

私たちが行う療育は、『ハビリテーション』

できた経験がない、成功体験がわからな中での指導
→成功体験がイメージできない

- (例1) トイレでウンチができない
- (例2) ご褒美シールをあげると言ってもやらない
- (例3) 食事の時に立ち歩く
- (例4) 自分で考えられるようにしたい
- (例5) 自分で爪を切ることができるようにしたい
- + (例6) 友達を叩いてしまう子の指導

上記のような例をあげて一つ一つ解決の道を考え
ていきましょう。

(例1) トイレでウンチができない
できた経験がない、成功体験がわからな中での指導
→成功体験がイメージできない

×失敗した時に叱ってしまう
(ダメな理由)

- ①失敗すると『関わってもらえる』と誤学習する
- ②「ダメ」と言われても何をして良いか分からない

○良い支援の方法

- ①乾いているパンツをほめる（たくさんほめる）
- ②失敗した時は、淡々と替える作業を行う

(例2) ご褒美シールを喜ばない
できた経験がない、成功体験がわからな中での指導
→成功体験がイメージできない

×シールをたくさんにする・立派にする
(ダメな理由)

- ①褒めてもらった経験やシールをもらう経験がない
- ②「頑張ったらシール」という事を理解してない

○良い支援の方法

- ①今できていることでシールをもらえる体験をする
- ②“物”というご褒美だけでなく“できた喜び”や“褒めて
もらう喜び”へと高めていく

(例3) 食事の時に立ち歩く

できた経験がない、成功体験がわからない中での指導
→成功体験がイメージできない

“応用行動分析”によって原因をさぐる
「立ち歩く時」と「座っている時」どんな時か？

- ①お腹がいっぱいの時量を減らす・次の事を決定
- ②集中できない→テレビを消す・集中できる場所
- ③兄弟姉妹にちょっかいを出さ座る場所の工夫
時間を分けて食事
- ④ご褒美シールなどで本人にやる気を出させる

(例4) 自分で考えられるようにしたい

できた経験がない、成功体験がわからない中での指導
→成功体験がイメージできない

- ×親や先生が決める→僕が決めたんじゃない！
- ×本人が考える→そうなるとは思わなかった
- ☆「選択する」とは、→自分で決める
- ☆+メリットとデメリットを説明して見通しを持たせる

“スモールステップ”で順に高めていく

- ①複数の選択を与える(メリットとデメリットを与える)
- ②選択枠を増やしていく→☆パターンが増える
- ③自分で考えることができるようになる

(例5) 爪を切ることができるようにしたい

できた経験がない、成功体験がわからない中での指導
→成功体験がイメージできない

“新しいこと”にチャレンジさせる方法
「やって見せ」→「言って聞かせて」→「させてみて」
→「ほめてやらねば人は動かじ」 山本五十六

- ①兄ちゃんやお父さんが爪を切っている姿を見せる
- ②お母さんが、その姿を無茶苦茶褒める姿を見せる
- ③本人と一緒にやってみる
- ④ほめる
- ⑤一人でやらせてみる

(例6) 友達を叩いてしまう子の指導

できた経験がない、成功体験がわからない中での指導
→成功体験がイメージできない

まずは、“応用行動分析”で原因をさぐる
他の時間に比べて『遊びの時間によく叩く』→なぜ？

- 『友達がおもちゃで遊んでいる時に特に叩く』
- 『結果として自分におもちゃが手に入る→誤学習・強化
- ①先生が本人の手を引き、先生が貸して』と言う
- ②本人と一緒に『貸して』と言う
- ③本人に『貸して！』と言わせる
- ④『貸して！』と言えば借りられることを学ぶ
- ⑤『ありがとう』が言えるようにする。

児童発達支援と放課後等デイサービス

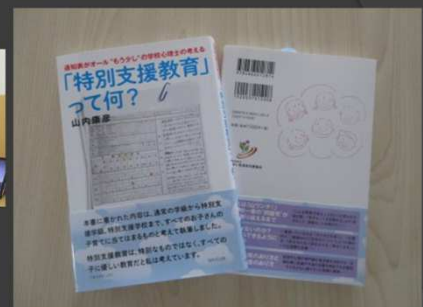
学童保育や通常の園では・・・

- ※たくさんの子どもに対して指導員の数が少ない
- ・学習の見届けも、活動の見届けも甘い。
- ・子どもが多いので、指導員が個に対応できない。
- 健常の子は、自らの力で社会性を身につけていく。

児童発達支援・放課後等デイサービスは・・・

- ※定員10人に対して 指導員が4~5人
- ・学習の見届けも、活動の見届けが充実。
- ・職員が多いので、個の対応も可能
- 特別支援が必要な子は、肯定的に認めてくれる大人のもとで社会性を身につけていく。

困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切



特別な支援は、もはや特別なものではありません
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです

ご清聴ありがとうございました。